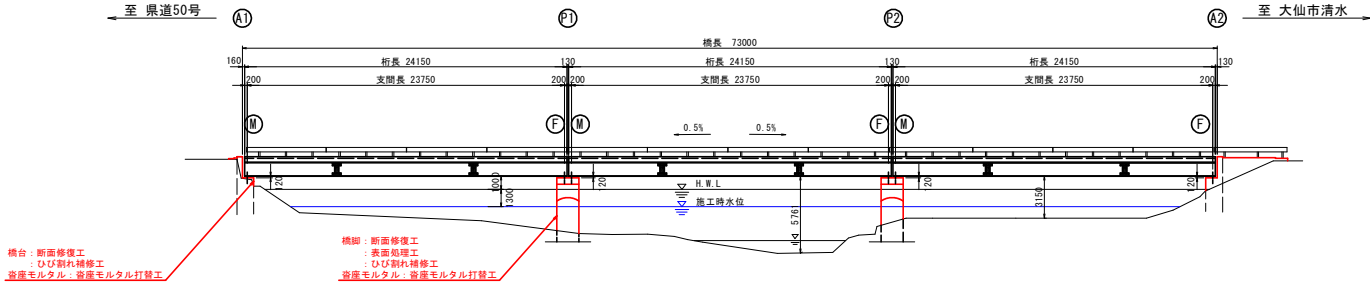


北川目橋 補修図一般図

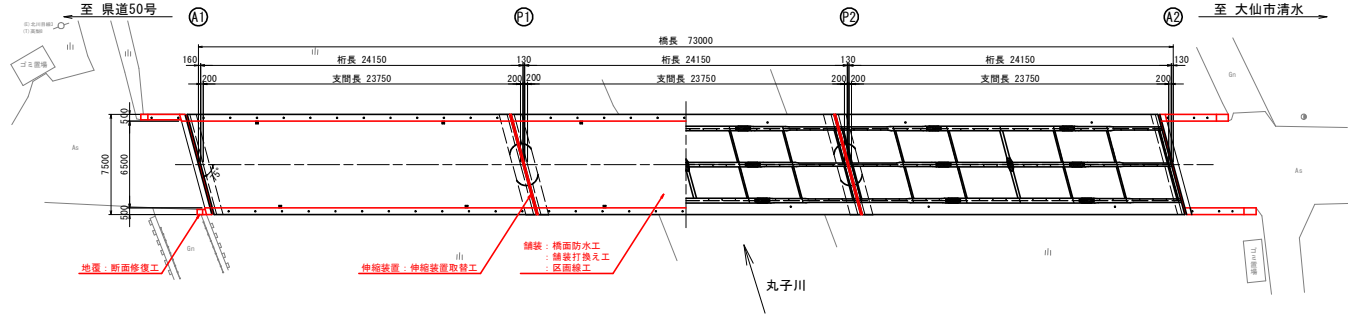
側面図

S=1/200



平面図

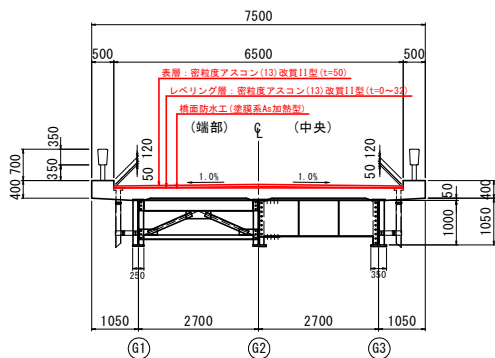
S=1/200



断面図

S=1/60

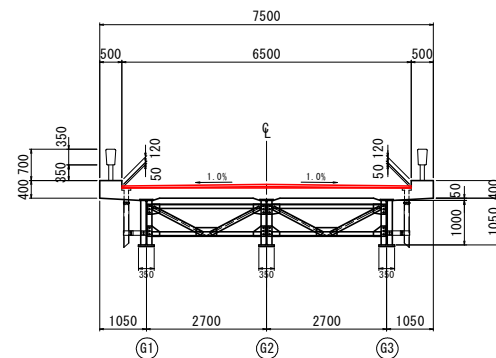
(端部, 中央)



断面図

S=1/60

(中間部)



補修概要 (1次施工)

補修項目	補修概要
伸縮装置	伸縮装置取替工
舗装	橋面防水工, 舗装打換え工, 区画線工
地覆	断面修復工 (舗装側)
橋台 橋脚	断面修復工, 表面処理工, ひび割れ補修工
宥座モルタル	宥座モルタル打替工

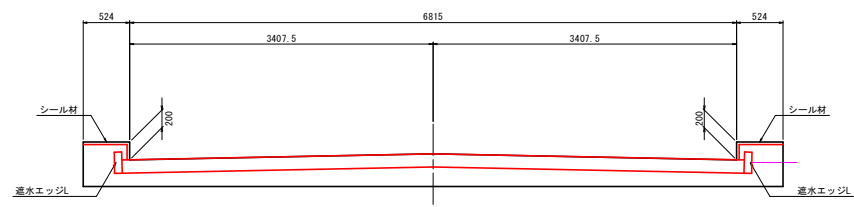
橋梁諸元

橋梁名	北川目橋(キタカワメバシ)
路線名	市道 高梨郷見内南北線
架橋場所	大仙市高梨字柳田 地内
交差物件	一般河川 丸子川
架設年月	1974年(昭和49年) 架設より52年経過
設計荷重	TL-20, 1等橋
適用示方書	S48 道路橋示方書
構造形式	3径間連続鋼桁合成板桁橋
橋長	L=73.0m
桁長	L=24.15m x3
支間長	L=23.75m x3
幅員構成	6.50m(全幅員7.50m)
斜角	-
橋面舗装	アスファルト舗装
橋台 橋脚 形式	逆T式橋台x2基, T型橋脚柱小判型x2基
基礎形式	不明

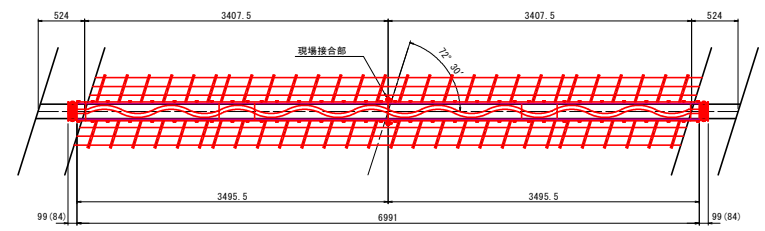
令和 8 年度	工事番号	(建道0047)
路線名	市道 高梨郷見内南北線	
箇所名	大仙市高梨字柳田 地内	
工事名	橋補修交一第5号 北川目橋橋梁補修工事	
北川目橋 補修図一般図	縮尺	図示
照査	設計	01
	図面番号	13
大 仙 市		

北川目橋 補修図 その1
橋梁付属物工[伸縮装置取替工] その1
A1, A2(車道部)

断面図 S=1:30

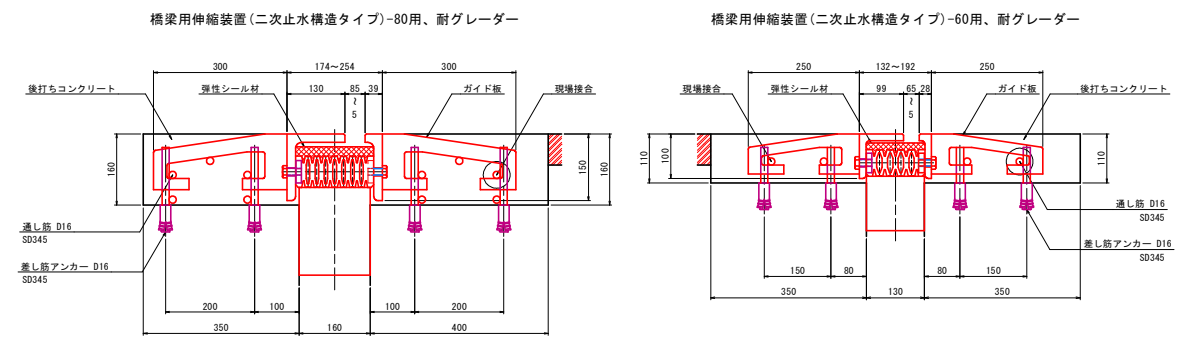


平面図 S=1:30

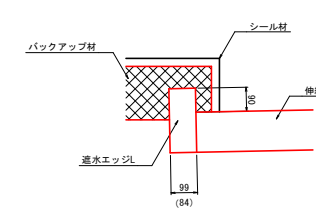


*() 内寸法はA2側を示す
*現場接合部は、バッキンに接着剤を塗布し接合すること。
また、指定範囲に溶接を施すこと。

伸縮装置断面図 S=1:6

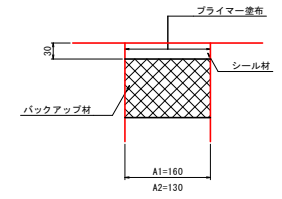


端部詳細図 S=1:10

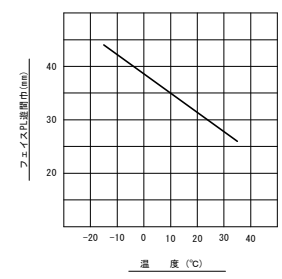


*() 内寸法はA2側を示す

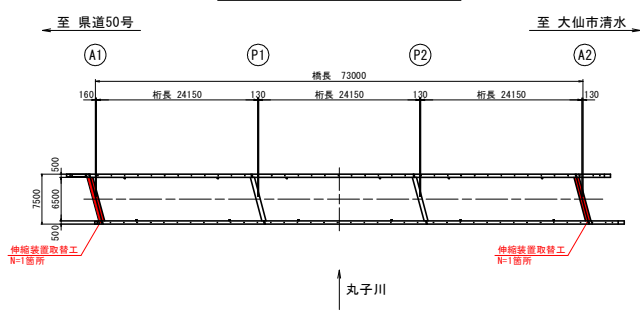
シール材充填図 S=1:5



予備圧縮量



配置図 S=1:400



丸子川

伸縮装置材料表

名 称	材 質	A1数量	A2数量	合計数量	備 考
橋梁用伸縮装置(二次止水構造タイプ)-80用	80用 耐候ゴム 弾性シール材	6.991 m		6.991 m	耐グレーダー
橋梁用伸縮装置(二次止水構造タイプ)-60用	60用 耐候ゴム 弾性シール材		6.991 m	6.991 m	耐グレーダー
遮水エッジ(80用)		2箇所		2箇所	
遮水エッジ(60用)			2箇所	2箇所	
接着剤		1個	1個	2個	80用, 60用
シール材	シリコン系	6.7 L	5.4 L	12.1 L	
バックアップ材		1.328 m	1.328 m	2.656 m	□250, 200
後打ちコンクリート		0.839 m ³	0.538 m ³	1.377 m ³	
通 し 筋	SD345	10 本	4 本	14 本	D16x6990
差し筋アンカー	SD345	112 本	112 本	224 本	D16用

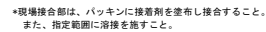
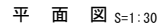
注1) カッター幅及びはつり深さは、現場確認の上、決定のこと。
注2) 伸縮装置長さは、現地測量後決定のこと。
注3) 差し筋アンカーは、ガイド板ピッチに沿って配置のこと。
注4) 固定可動を確認のこと。

補修数量		工 種	種 別	規 格	数 量	単 位
伸縮装置取替工		伸縮装置取替	橋梁用伸縮装置(二次止水構造タイプ)-60用, 80用, 耐グレーダー		28.0	m

注記
※1. 施工前に現地寸法、補修範囲及び数量を確認し、協議のうえ施工すること。
※2. 図中詳細寸法は現地確認のうえ決定すること。
※3. カッター幅及びはつり深さは、現場確認の上、決定すること。
※4. 伸縮装置長さは、現地測量後決定すること。
※5. 差し筋アンカーは、ガイド板ピッチに沿って配置すること。
※6. 固定可動を確認すること。
※7. 気象状況の把握に努め、悪天候時に作業の中止等の判断すること。
※8. 交通整理の際は、通行車両への減速措置を徹底すること。

令和 8 年度		工 事 番 号	(建通0047)
路 線 名	市道 高梨町見内南北線		
個 所 名	大仙市高梨字柳田 地内		
工 事 名	橋補修交一第5号 北川目橋橋梁補修工事		
北川目橋 補修図 その1		縮 尺	図示
照査	設計	図面 番号	02 / 13
大 仙 市			

断面图 S=1:30



注1) カッター幅及びびつり深さは、現場確認の上、決定のこと。
注2) 伸縮装置長さは、現地測量後決定のこと。
注3) 差筋アンカーは、ガイド板ビッチに沿って配置のこと。
注4) 固定可動を確認のこと。

バックアップ材

シーリング材

伸縮装置本体

通水エッジ

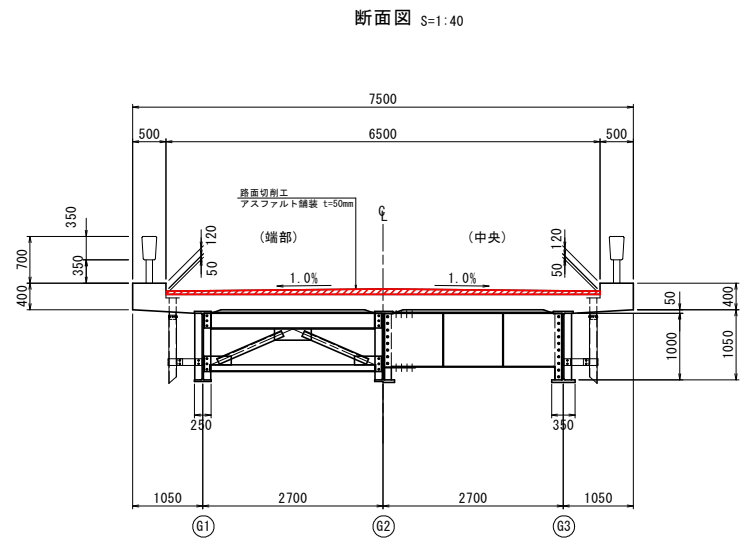
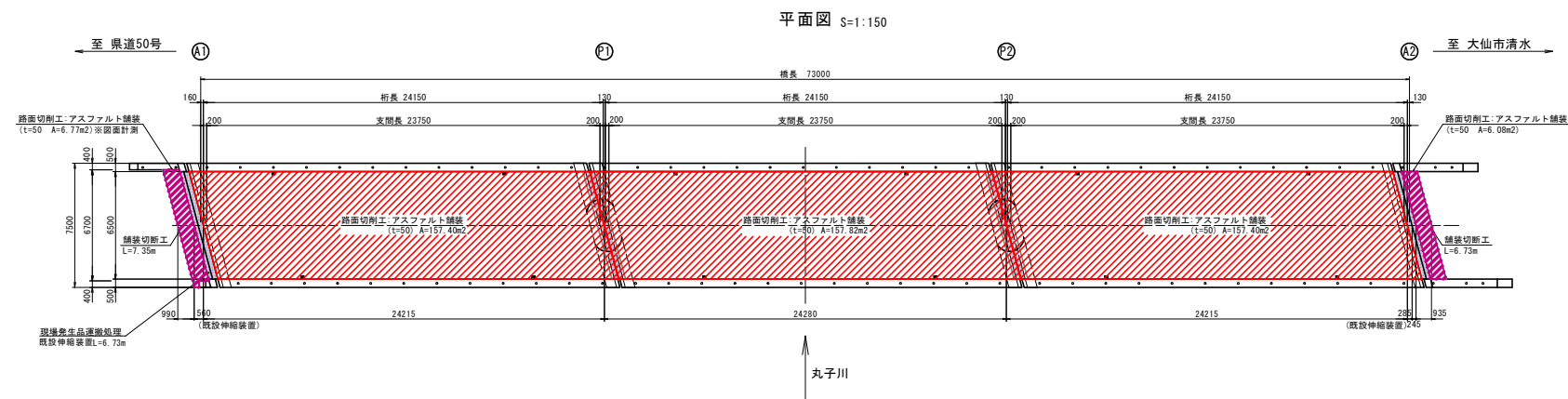
30

84

※1 施工前に現地寸法、補修範囲及び数量を確認し、協議のうえ施工すること。
※2 図中詳細寸法は現地検測のうえ決定すること。
※3 カッター幅及びはつり深さは、現場確認の上、決定すること。
※4 伸縮装置長さは、現地測量結果を決定すること。
※5 差筋アンカーは、ガイド板仕様に沿って配置すること。
※6 固定可動を再確認すること。
※7 気象状況の把握に努め、悪天候時に作業の中止等の判断すること。
※8 交通整理の際は、通行車両への減速措置を徹底すること。

令和 8 年度		工事 番号	(通道0047)
路線名	市道 高梨堤内南北線		
河 名	大仙市高梨字柳田 地内		
工 事 名	橋補修交～第5号 北川目橋橋交補修工事		
北川目橋 補修 その2		縮 尺	図示
調査	設計	図面 番号	03 13
大 仙 市			

北川目橋 補修図 その3
構造物撤去工〔舗装撤去工〕



補修数量

工種	種別	細別	規格	数量	単位
舗装撤去工	舗装切斷工	アスファルト舗装 (t=50mm)	掘り付け部	14.08	m
	路面切削工	アスファルト舗装 (t=50mm)	掘り付け部含む	485.47	m ²

注記

※1 施工前に現地寸法、補修範囲及び数量を確認し、協議のうえ施工すること。

※2 図中詳細寸法は現地検測のうえ決定すること。

※3 舗装撤去時、ひび割れ等異常が認められたときは、協議のうえ施工すること。

※4 路面切削工のカッター工、コンクリートとりこわしは現地確認のうえ、鉄筋を傷つけないよう注意すること。

※5 舗装撤去後、設計値以上に床版上面の土砂化が進行している場合は、協議のうえ断面修復工等による対応を行うこと。

※6 気象状況の把握に努め、悪天候時に作業の中止等の判断すること。

※7 交通整理の際は、通行車両への減速措置を徹底すること。

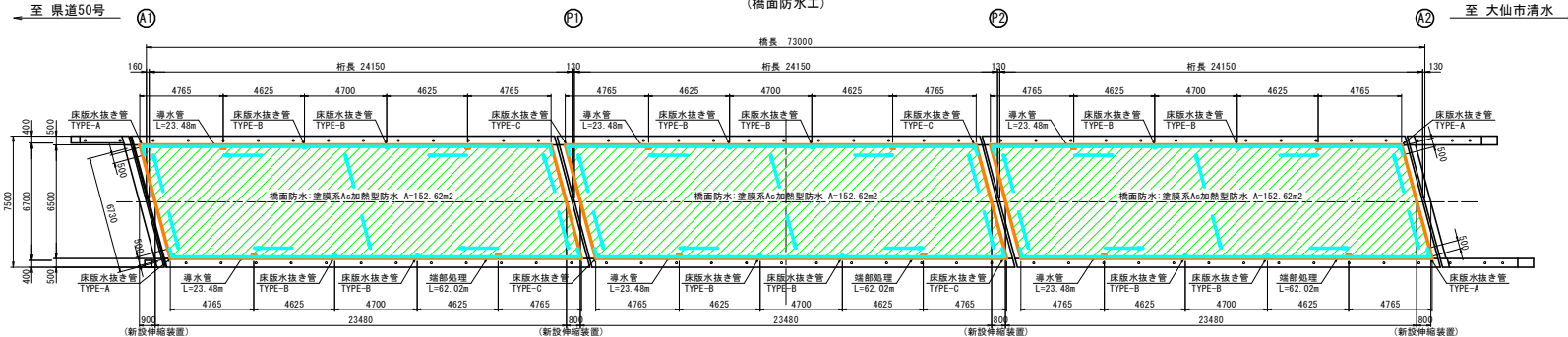
令和 8 年度		工事番号	(建道0047)
路線名	市道 高梨町見内南北線		
箇所名	大仙市高梨字柳田 地内		
工事名	橋補修交一第5号 北川目橋橋梁補修工事		
北川目橋 補修図 その3		縮尺	図示
照査	設計	図面番号	04 / 13
大 仙 市			

凡例

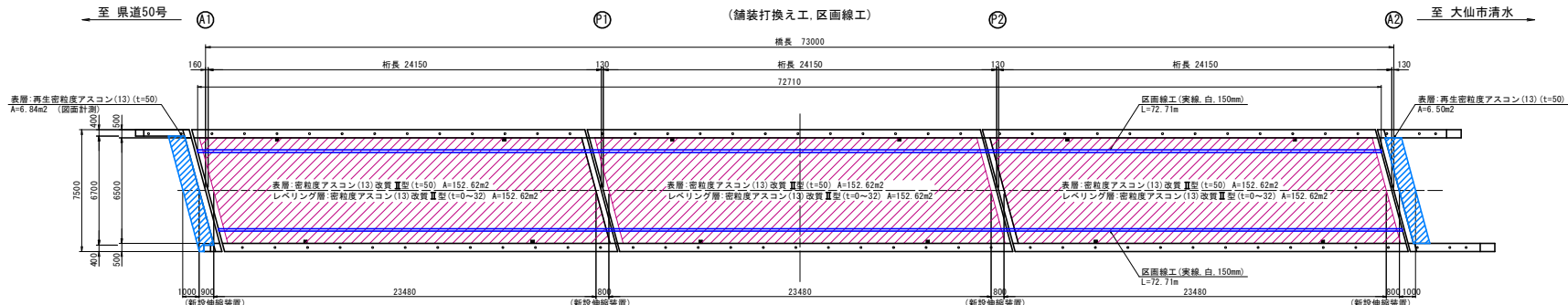
- ：橋面防水、舗装打換え（橋梁部）
：舗装打換え（接付部）
：端部処理
：導水管
：既設排水溝
：床版水抜き管

北川目橋 補修図 その4 舗装工[橋面防水工, 舗装打換え工, 区画線工]その1

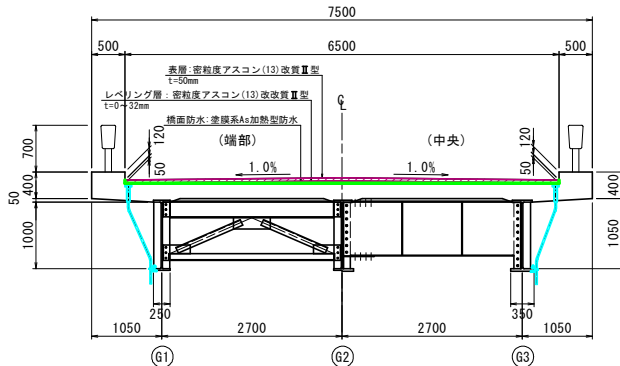
平面図 S=1:150
(橋面防水工)



(舗装打換え工, 区画線工)



断面図 S=1:40



補修数量

工種 種別	細 別	規 格	数量	単位
橋面防水工	橋面防水	塗膜系As加熱型防水	457.9	m ²
	成形目地材	アスファルト成型テープt=5mm, ビタツとL型止水テープ同等品	186.1	m
	端部処理材	プライマー	186.1	m
	導水管	内径φ15樹脂製	146.9	m
	床版水抜き管	床版水抜き管(床版厚210~290mm対応)	20	組
		フレキシブルチューブφ25(樹脂製)	31.6	m
		一般形銅用管支持金具20~45mm用(クリップ付き)	20	組
		鉄筋探査(床版水抜き管設置箇所選定用)	5.0	m ²
舗装打換え工	表層(橋梁部)	密粒度アスコン(13)改質Ⅱ型, t=50mm	457.9	m ²
	レベリング材	密粒度アスコン(13)改質Ⅱ型, t=0~32mm	16.5	t
	表層(接付部)	再生密粒度アスコン(13), t=50mm	13.3	m ²
	区画線工	実線, 白, 150mm	145.4	m

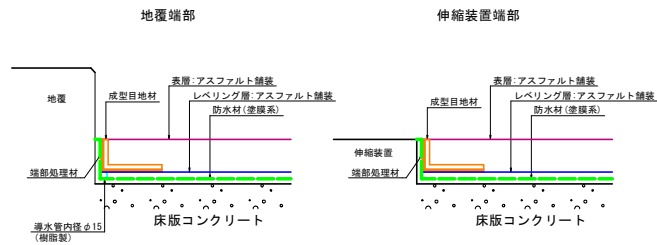
- 注記
※1. 施工前に現地寸法、補修範囲及び数量を確認し、協議のうえ施工すること。
※2. 箇中詳細寸法は現地検測のうえ決定すること。
※3. コア抜きや削孔は、鉄筋探査を実施し鉄筋を切断しないこと。
※4. 切削時床版コンクリートにひび割れ等異常が認められたときは、協議のうえ施工すること。
※5. 防水材料は、W19.3「道路橋保防水便覧」における、標準的品質適合品を使用すること。
※6. 水抜き管の流束は、フレキシブルチューブにて主桁下フランジ下面より200mm以上低い位置にて処理すること。
※7. 導水管は、雨水が生じないように、適切な動水勾配を設けること。
※8. 橋梁点検車を使用する場合は、両岸から作業員並びに製作部材の運搬 落下防止に努め、安全対策を徹底すること。
※9. 舗装厚は現況復旧とするが、推定値であるため現地計測の上、施工すること。
※10. 気象状況の把握に努め、悪天候時に作業の中止等の判断すること。
※11. 交通整理の際は、通行車両への減速措置を徹底すること。

令和 8 年度		工 事 番号	(建道0047)
路 線 名	市道 高梨堀見内南北線	橋 名	北川目橋
個 所 名	大仙市高梨字柳田 地内	工 事 名	橋補修交一第5号 北川目橋橋梁補修工事
北川目橋 補修図 その4		縮 尺	図示
照査	設計	図面 番号	05 / 13
大 仙 市			

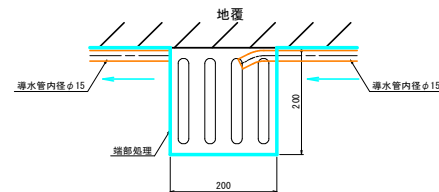
北川目橋 補修図 その5

舗装工[橋面防水工, 舗装打換え工, 区画線工]その2

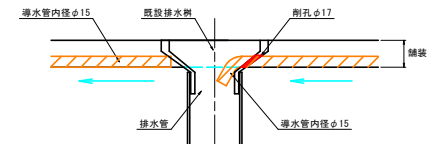
橋面防水工詳細図 S=1:3



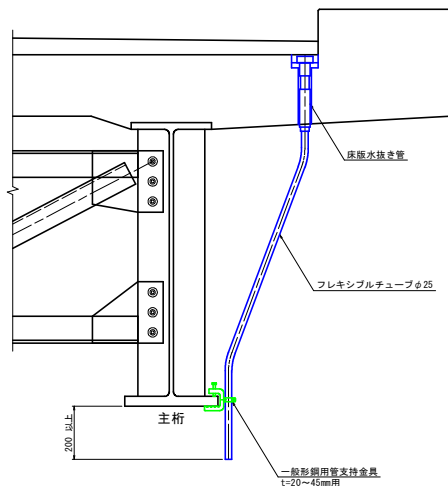
排水柵部詳細図 S=1:5



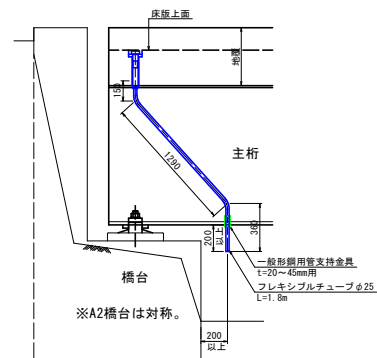
導水管流末処理図 S=1:5



床版水抜き管設置部詳細図 S=1:10

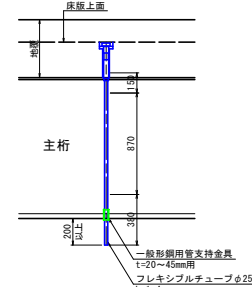


TYPE-A
(全4箇所)
橋台部

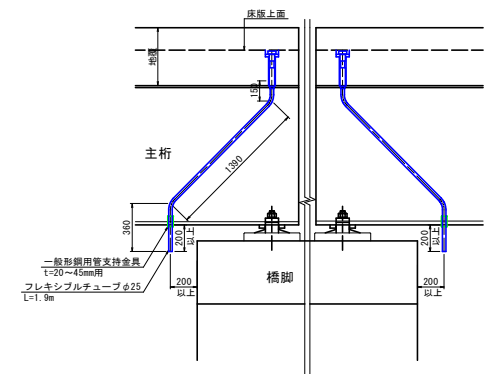


フレキシブルチューブ詳細図 S=1:20

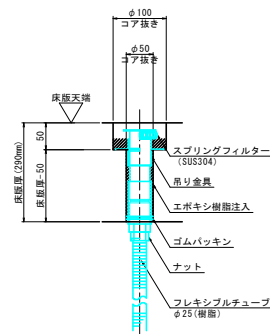
TYPE-B
(全12箇所)



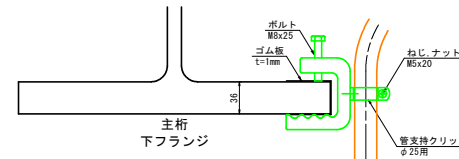
TYPE-C
(全4箇所)
橋脚部



床版水抜き管詳細図 S=1:5



支持金具詳細図 S=1:3

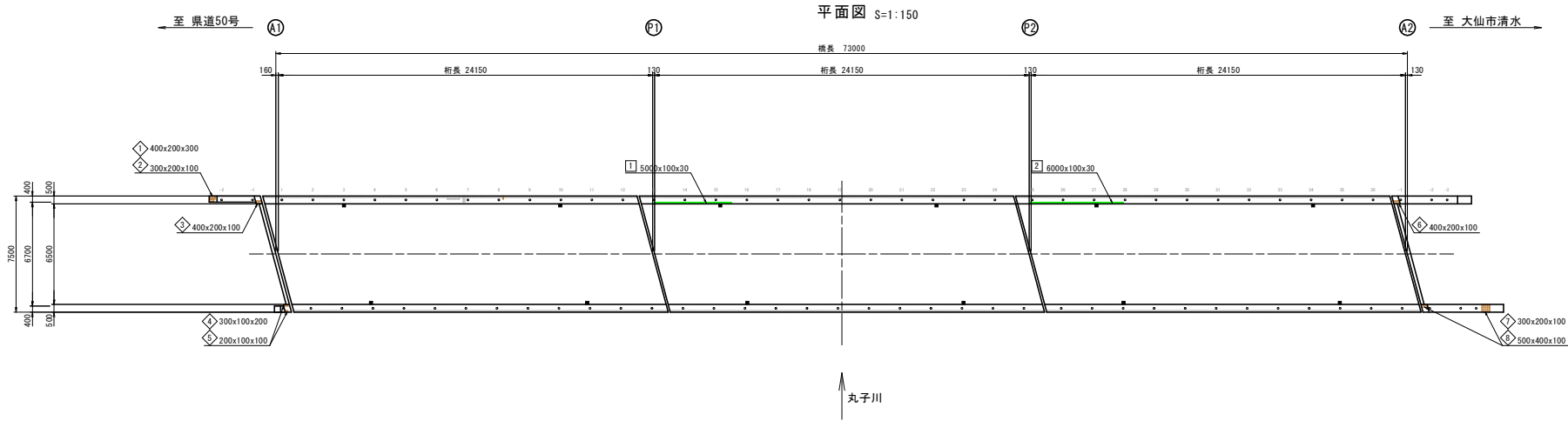


- 注記
- ※1. 施工前に現地寸法、補修範囲及び数量を確認し、協議のうえ施工すること。
 - ※2. 箇中詳細寸法は現地検測のうえ決定すること。
 - ※3. コア抜きや削孔は、鉄筋探索を実施し鉄筋を切断しないこと。
 - ※4. 切削時床版コンクリートにひび割れ等異常が認められたときは、協議のうえ施工すること。
 - ※5. 防水材料は、W19.3「道路橋床版防水便覧」における、標準的品質適合品を使用すること。
 - ※6. 水抜き管の流末は、フレキシブルチューブにて主桁下フランジ下面より200mm以上低い位置、下部工から200mm以上離して処理すること。
 - ※7. 導水管は、渾水が生じないように、適切な配水勾配を設けること。
 - ※8. 橋梁点検車を使用する場合は、実所から作業員並びに製作材料の墜落 落下防止に努め、安全対策を徹底すること。
 - ※9. 舗装厚は現況復旧とするが、推定値であるため現地計測の上、施工すること。
 - ※10. 気象状況の把握に努め、悪天候時に作業の中止等の判断すること。
 - ※11. 交通整理の際は、通行車両への減速措置を徹底すること。

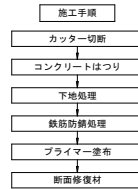
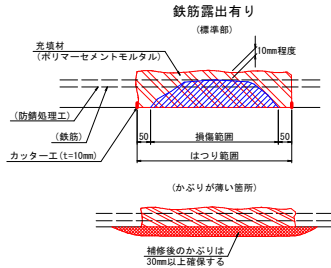
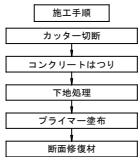
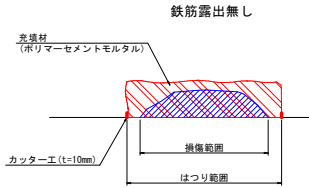
令和 8 年度			工 事 番 号		(建道0047)	
路 線 名		市道 高梨堀見内南北線				
河 川 名						
箇 所 名		大仙市高梨字柳田 地内				
工 事 名		橋補修交一第5号 北川目橋橋梁補修工事				
北川目橋 補修図 その5			縮 尺		図 示	
照査	設計		図面 番号	06		
				13		
大 仙 市						

凡 例		記号
	断面修復工 左官工法(鉄筋露出無し)	
	断面修復工 左官工法(鉄筋露出有り)	

北川目橋 補修図 その6
橋梁補修工[断面修復工]その1
橋面



断面修復工詳細図
(左官工法)



□ 左官工法(鉄筋露出無し) 補修数量

位置	No.	箇所	延長 (mm)	幅 (mm)	深さ (mm) (想定)	補修面積 (m ²)	補修体積 (m ³)
第2区間	1	1	5000	100	30	0.500	0.0150
						小計	0.0150
第3区間	2	1	6000	100	30	0.600	0.0180
						小計	0.0180
合計							0.0330

◇ 左官工法(鉄筋露出有り) 補修数量

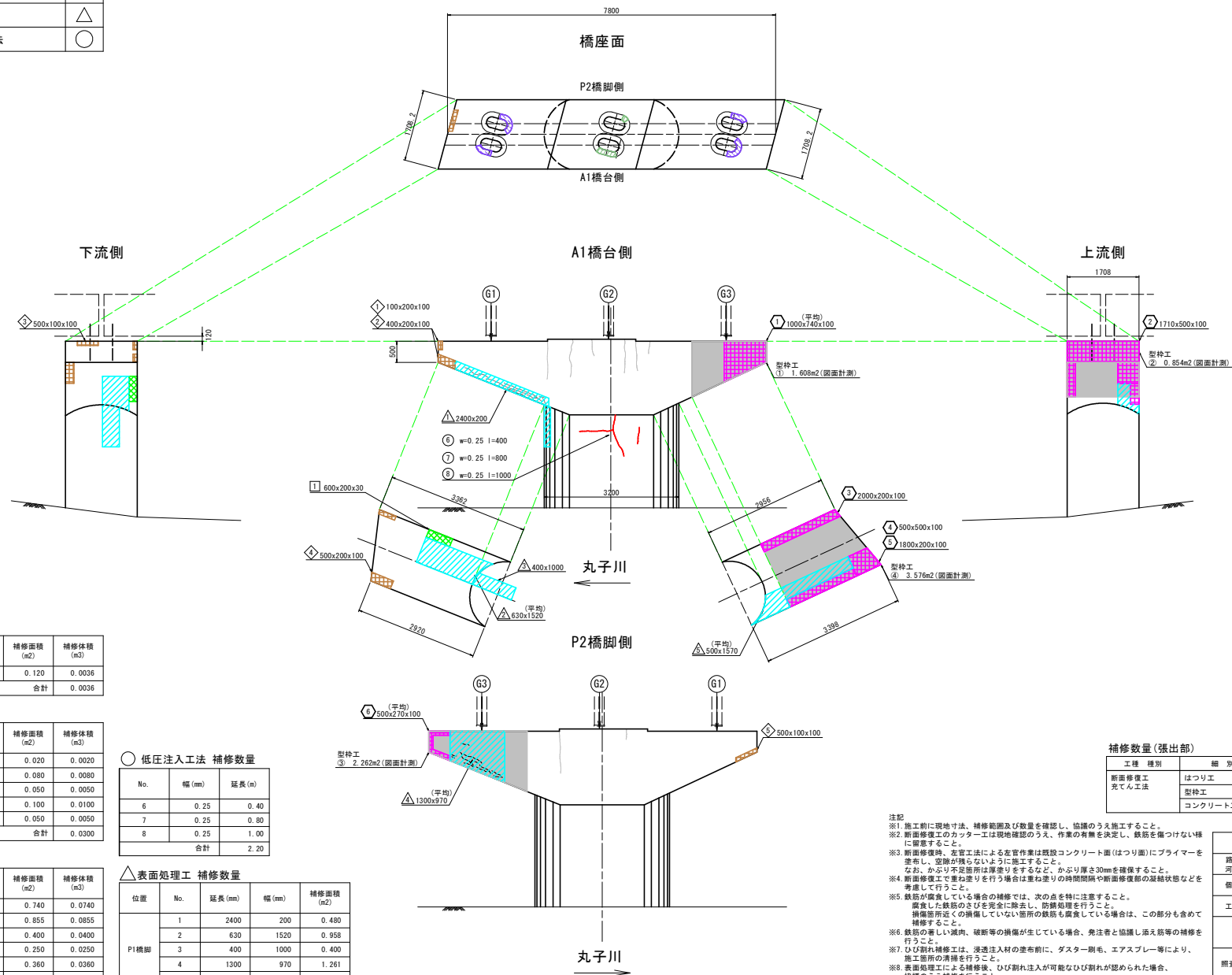
位置	No.	箇所	延長 (mm)	幅 (mm)	深さ (mm) (想定)	補修面積 (m ²)	補修体積 (m ³)
第1区間	1	1	400	200	300	0.080	0.0240
	2	1	300	200	100	0.060	0.0060
	3	1	400	200	100	0.080	0.0080
	4	1	300	100	200	0.030	0.0060
	5	1	200	100	100	0.020	0.0020
小計							0.0460
第3区間	6	1	400	200	100	0.080	0.0080
	7	1	300	200	100	0.060	0.0060
	8	1	500	400	100	0.200	0.0200
小計							0.0340
合計							0.0800

注記
※1. 施工前に現地寸法、補修範囲及び数量を確認し、協議のうえ施工すること。
※2. 断面修復工のカッター工は現地確認のうえ、作業の有無を決定し、鉄筋を傷つけない様に留意すること。
※3. 断面修復時、左官工法による左官作業は既設コンクリート面(はつり面)にプライマーを塗布し、空留が残らないように施工すること。
※4. 断面修復工で重ね塗りを行う場合は重ね塗りの時間間隔や断面修復部の凝結状態などを考慮して行うこと。
※5. 鉄筋が腐食している場合は、次の点を特に注意すること。
腐食した鉄筋のさびを完全に除去し、防錆処理を行うこと。
損傷箇所近くの損傷していない箇所の鉄筋も腐食している場合は、この部分も含めて補修すること。
※6. 作業員落下防止の対策を徹底すること。
※7. 気象状況の把握に努め、悪天候時に作業の中止等の判断すること。

令和 8 年度		工 事 番 号	(建道0047)
路 線 名	河 川 名	市道 高梨地区内南北線	
備 所 名		大仙市高梨字柳田 地内	
工 事 名		橋補修交一第5号 北川目橋橋梁補修工事	
北川目橋 補修図 その6		縮 尺	図示
照査	設計	図面 番号	07 13
大 仙 市			

凡 例			記号
	断面修復工	左官工法(鉄筋露出無し)	
	断面修復工	左官工法(鉄筋露出有り)	
	断面修復工	充てん工法(鉄筋露出有り)	
	断面修復工	充てん工法(型枠工)	
	表面処理工		
	ひび割れ補修工	低圧注入工法	

北川目橋 補修図 その7 S=1:50
橋梁補修工[断面修復工, 表面処理工, ひび割れ補修工]その2
下部工 P1橋脚



□ 左官工法(鉄筋露出無し) 補修数量

位置	No.	延長(mm)	幅(mm)	深さ(mm) (想定)	補修面積 (m2)	補修体積 (m3)
P1橋脚	1	600	200	30	0.120	0.0036
合計					0.0036	

◇ 左官工法(鉄筋露出有り) 補修数量

位置	No.	延長(mm)	幅(mm)	深さ(mm) (想定)	補修面積 (m2)	補修体積 (m3)
P1橋脚	1	100	200	100	0.020	0.0020
	2	400	200	100	0.080	0.0080
	3	500	100	100	0.050	0.0050
	4	500	200	100	0.100	0.0100
	5	500	100	100	0.050	0.0050
合計					0.0300	

◇ 充てん工法(鉄筋露出有り) 補修数量

位置	No.	延長(mm)	幅(mm)	深さ(mm) (想定)	補修面積 (m2)	補修体積 (m3)
P1橋脚	1	1000	740	100	0.740	0.0740
	2	1710	500	100	0.855	0.0855
	3	2000	200	100	0.400	0.0400
	4	500	500	100	0.250	0.0250
	5	1800	200	100	0.360	0.0360
	6	500	270	100	0.135	0.0135
合計					0.2740	

○ 低圧注入工法 補修数量

No.	幅(mm)	延長(m)
6	0.25	0.40
7	0.25	0.80
8	0.25	1.00
合計		2.20

△ 表面処理工 補修数量

位置	No.	延長(mm)	幅(mm)	補修面積 (m2)
P1橋脚	1	2400	200	0.480
	2	630	1520	0.958
	3	400	1000	0.400
	4	1300	970	1.261
	5	500	1570	0.785
合計				3.884

補修数量(張出部)

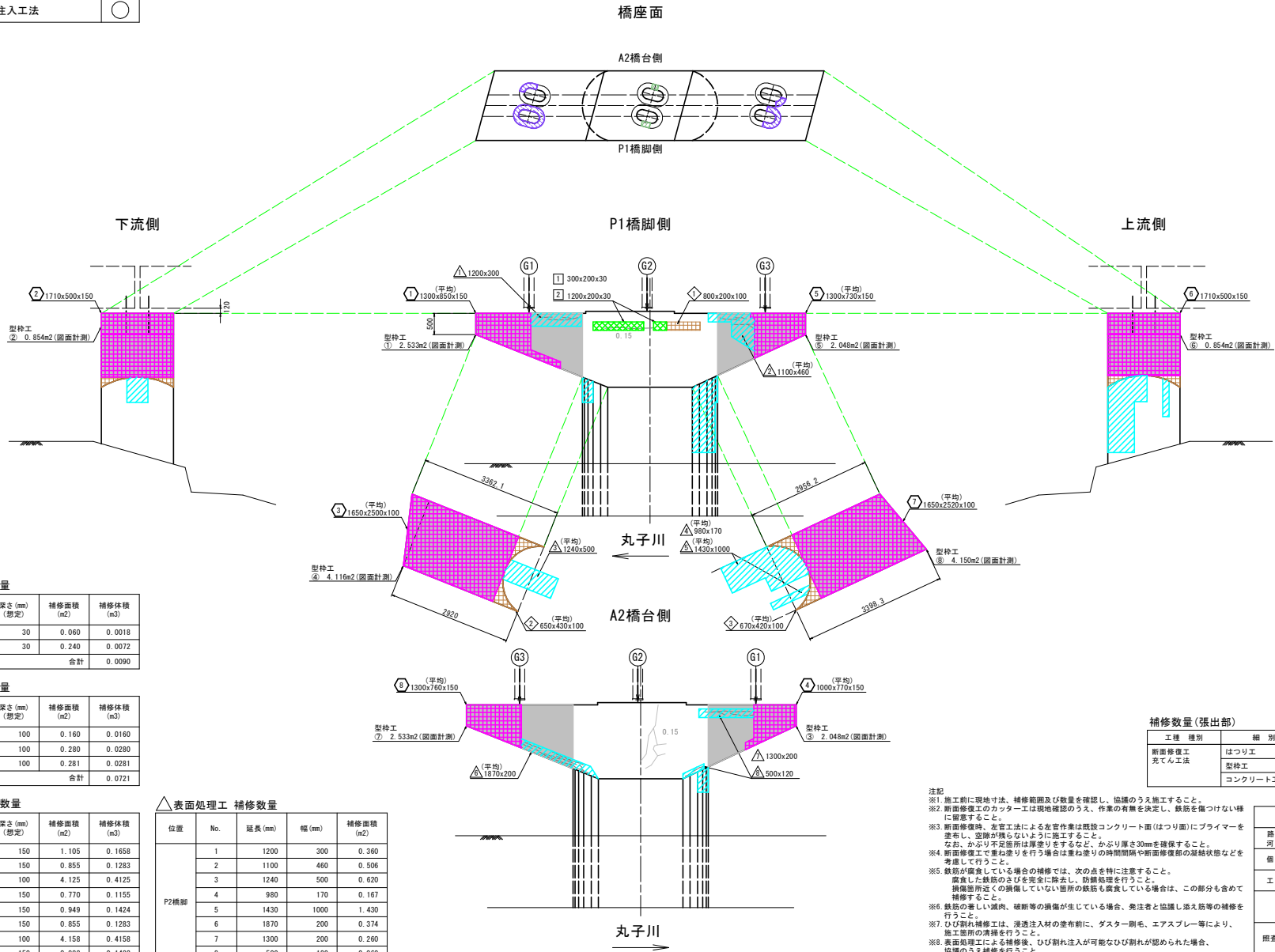
工種 種別	細 別	規 格	数量	単位
断面修復工	はつり工	はつり厚さ5cm	0.14	m3
充てん工法	型枠工	一般型枠	8.30	m2
	コンクリート工	コンクリート(24-12-25)	0.274	m3

- 注記
- ※1. 施工前に現地寸法、補修範囲及び数量を確認し、協議のうえ施工すること。
 - ※2. 断面修復工のカッター工は現地確認のうえ、作業の有無を決定し、鉄筋を傷つけない様に留意すること。
 - ※3. 断面修復後、左官工法による左官作業は既設コンクリート面(はつり面)にプライマーを塗布し、空気が残らないように施工すること。
なお、かぶり不足箇所は厚塗りをするなど、かぶり厚さ30mmを確保すること。
 - ※4. 断面修復工で重ね塗りを行う場合は重ね塗りの時間間隔や断面修復部の凝結状態などを考慮して行うこと。
 - ※5. 鉄筋が腐食している場合の補修では、次の点を特に注意すること。
腐食した鉄筋のさびを完全に除去し、防錆処理を行うこと。
損傷箇所近くの損傷していない箇所の鉄筋も腐食している場合は、この部分も含めて補修すること。
 - ※6. 鉄筋のさびしい減肉、破断等の損傷が生じている場合、発注者と協議し添え筋等の補修を行うこと。
 - ※7. ひび割れ補修工は、浸透注入材の塗布前に、ダスター刷毛、エアーブロー等により、施工箇所の清掃を行うこと。
 - ※8. 表面処理工による補修後、ひび割れ注入が可能なひび割れが認められた場合、協議のうえ補修を行うこと。
 - ※9. 作業員落下防止の対策を徹底すること。
 - ※10. 気象状況の把握に努め、悪天候時に作業の中止等の判断すること。

令和 8 年度		工 事 番号	(建道0047)
路 線 名	河 川 名	市道 高梨堀見内南北線	
個 所 名	大仙市高梨字柳田 地内		
工 事 名	橋補修交一第5号 北川目橋橋梁補修工事		
北川目橋 補修図 その7		縮 尺	図示
照査	設計	図面 番号	08 / 13
大 仙 市			

凡 例			記号
	断面修復工	左官工法(鉄筋露出無し)	
	断面修復工	左官工法(鉄筋露出有り)	
	断面修復工	充てん工法(鉄筋露出有り)	
	断面修復工	充てん工法(型枠工)	
	表面処理工		
	ひび割れ補修工	低圧注入工法	

北川目橋 補修図 その8 S=1:50
橋梁補修工[断面修復工, 表面処理工]その3
下部工 P2橋脚



□ 左官工法(鉄筋露出無し) 補修数量

位置	No.	延長(mm)	幅(mm)	深さ(mm) (想定)	補修面積 (m ²)	補修体積 (m ³)
P2橋脚	1	300	200	30	0.060	0.0018
	2	1200	200	30	0.240	0.0072
		合計				0.0090

◇ 左官工法(鉄筋露出有り) 補修数量

位置	No.	延長(mm)	幅(mm)	深さ(mm) (想定)	補修面積 (m ²)	補修体積 (m ³)
P2橋脚	1	800	200	100	0.160	0.0160
	2	650	430	100	0.280	0.0280
	3	670	420	100	0.281	0.0281
		合計				0.0721

◇ 充てん工法(鉄筋露出有り) 補修数量

位置	No.	延長(mm)	幅(mm)	深さ(mm) (想定)	補修面積 (m ²)	補修体積 (m ³)
P2橋脚	1	1300	850	150	1.105	0.1658
	2	1710	500	150	0.855	0.1283
	3	1650	2500	100	4.125	0.4125
	4	1000	770	150	0.770	0.1155
	5	1300	730	150	0.949	0.1424
	6	1710	500	150	0.855	0.1283
	7	1650	2520	100	4.158	0.4158
	8	1300	760	150	0.988	0.1482
		合計				1.6568

△ 表面処理工 補修数量

位置	No.	延長(mm)	幅(mm)	補修面積 (m ²)
P2橋脚	1	1200	300	0.360
	2	1100	460	0.506
	3	1240	500	0.620
	4	980	170	0.167
	5	1430	1000	1.430
	6	1870	200	0.374
	7	1300	200	0.260
	8	500	120	0.060
		合計		3.777

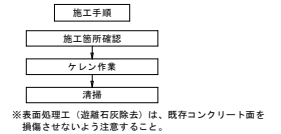
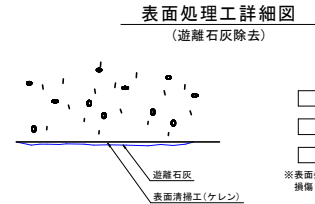
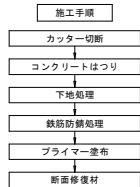
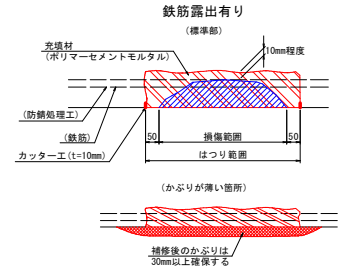
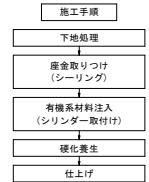
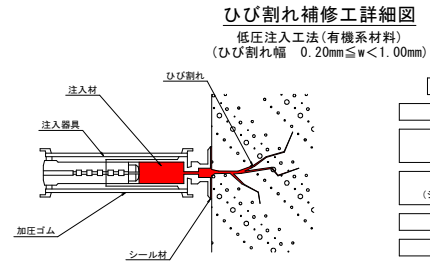
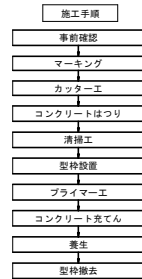
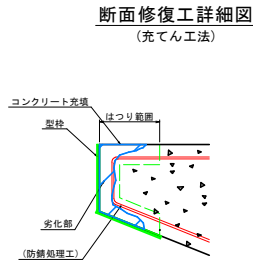
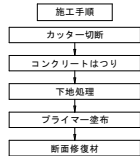
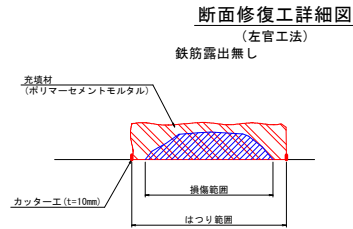
補修数量(張出部)

工種 種別	細 別	規 格	数量	単位
断面修復工	はつり工	はつり厚さ5cm	0.69	m ³
充てん工法	型枠工	一般型枠	19.14	m ²
	コンクリート工	コンクリート(24-12-25)	1.66	m ³

注記
※1. 施工前に現地寸法、補修範囲及び数量を確認し、協議のうえ施工すること。
※2. 断面修復工のカッター工は現地確認のうえ、作業の有無を決定し、鉄筋を傷つけない様
に留意すること。
※3. 断面修復時、左官工法による左官作業は既設コンクリート面(はつり面)にプライマーを
塗布し、空隙が残らないように施工すること。
なお、かぶり不足箇所は厚塗りをするなど、かぶり厚さ30mmを確保すること。
※4. 断面修復工で重ね塗りを行う場合は重ね塗りの時間間隔や断面修復部の凝結状態などを
考慮して行うこと。
※5. 鉄筋が腐食している場合の補修では、次の点を特に注意すること。
腐食した鉄筋のさびを完全に除去し、防錆処理を行うこと。
損傷箇所近くの損傷していない箇所の鉄筋も腐食している場合は、この部分も含めて
補修すること。
※6. 鉄筋のさびしい減肉、破断等の損傷が生じている場合、発注者と協議し添え筋等の補修を
行うこと。
※7. ひび割れ補修工は、浸透注入材の塗布前に、ダスター刷毛、エスプレー等により、
施工箇所の清掃を行うこと。
※8. 表面処理工による補修後、ひび割れ注入が可能なひび割れが認められた場合、
協議のうえ補修を行うこと。
※9. 作業員落下防止の対策を徹底すること。
※10. 気象状況の把握に努め、悪天候時に作業の中止等の判断すること。

令和 8 年度		工 事 番 号		(建道0047)
路 線 名	河 川 名	市道 高梨堀見内南北線		
備 所 名	大仙市高梨字柳田 地内			
工 事 名	橋補修交一第5号 北川目橋梁架修工事			
北川目橋 補修図 その8		縮 尺	図 示	
照査	設計	図面番号	09	13
大 仙 市				

北川目橋 補修図 その9
橋梁補修工[断面修復工, 表面処理工, ひび割れ補修工]その4
下部工 (P1橋脚, P2橋脚)



補修数量 (P1,P2)

工 種	数量 (P1橋脚)	数量 (P2橋脚)	数量 (合 計)	単位
断面修復工 左官工法(鉄筋露出無し)	0.0036	0.0090	0.01	m3
断面修復工 左官工法(鉄筋露出有り)	0.0300	0.0721	0.10	m3
断面修復工 充てん工法(鉄筋露出有り)	0.2740	1.6568	1.93	m3
低圧注入工法	2.20	-	2.20	m
表面処理工	3.884	3.777	7.66	m2

補修数量(張出部)

工 種 種 別	細 別	規 格	数量 (P1橋脚)	数量 (P2橋脚)	数量 (合 計)	単位
断面修復工 充てん工法	はつり工	はつり厚さ5cm	0.14	0.69	0.83	m3
	型枠工	一般型枠	8.30	19.14	27.44	m2
	コンクリート工	コンクリート(24-12-25)	0.274	1.66	1.93	m3

- 注記
- ※1. 施工前に現地寸法、補修範囲及び数量を確認し、協議のうえ施工すること。
 - ※2. 断面修復工のカッター工は現地確認のうえ、作業の有無を決定し、鉄筋を傷つけない様に留意すること。
 - ※3. 断面修復時、左官工法による左官作業は既設コンクリート面(はつり面)にプライマーを塗布し、空隙が残らないように施工すること。
なお、かぶり不足箇所は厚塗りをするなど、かぶり厚さ30mmを確保すること。
 - ※4. 断面修復工で重ね塗りを行う場合は重ね塗りの時間間隔や断面修復部の凝結状態などを考慮して行うこと。
 - ※5. 鉄筋が腐食している場合の補修では、次の点を特に注意すること。
腐食した鉄筋のさびを完全に除去し、防錆処理を行うこと。
損傷箇所近くの損傷していない箇所の鉄筋も腐食している場合は、この部分も含めて補修すること。
 - ※6. 鉄筋のさびしい減肉、破断等の損傷が生じている場合、発注者と協議し添え筋等の補修を行うこと。
 - ※7. ひび割れ補修工は、浸透注入材の塗布前に、ダスター刷毛、エアスプレー等により、施工箇所の清掃を行うこと。
 - ※8. 表面処理工による補修後、ひび割れ注入が可能なひび割れが認められた場合、協議のうえ補修を行うこと。
 - ※9. 作業員落下防止の対策を徹底すること。
 - ※10. 気象状況の把握に努め、悪天候時に作業の中止等の判断すること。

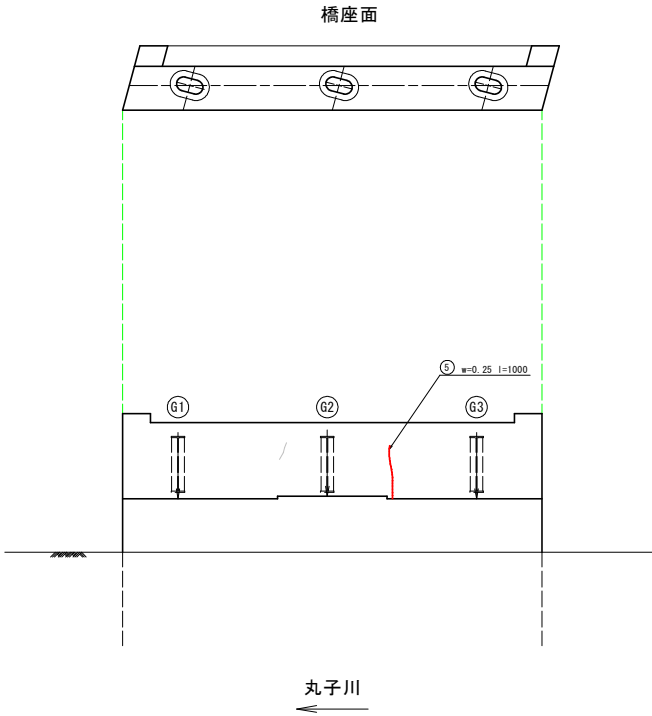
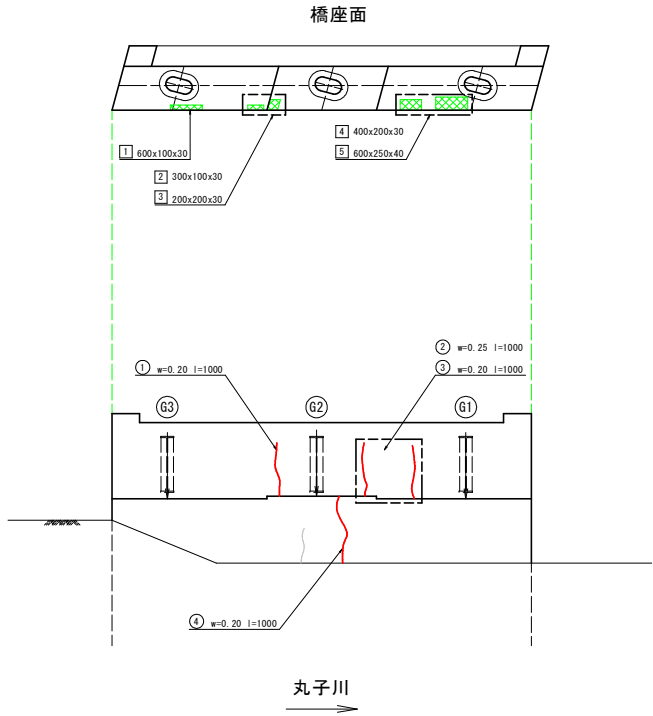
令和 8 年度			工 事 番 号		(建道0047)
路 線 名		市道 高梨地区内南北線			
河 川 名					
個 所 名		大仙市高梨字柳田 地内			
工 事 名		橋補修交一第5号 北川目橋橋梁補修工事			
北川目橋 補修図 その9			縮 尺	図示	
照査		設計		図面 番号	10
				13	
大 仙 市					

凡 例		記号
	断面修復工 左官工法(鉄筋露出無し)	
	ひび割れ補修工 低圧注入工法	

北川目橋 補修図 その10 S=1:50
橋梁補修工[断面修復工, ひび割れ補修工] その5
下部工 (A1橋台, A2橋台)

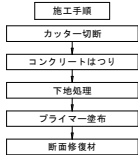
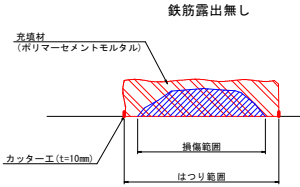
A1橋台

A2橋台



断面修復工詳細図

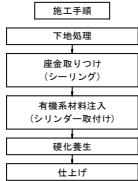
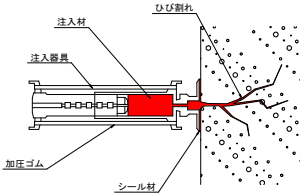
(左官工法)



ひび割れ補修工詳細図

低圧注入工法(有機系材料)

(ひび割れ幅 0.20mm ≤ w < 1.00mm)



○ 低圧注入工法 補修数量

位置	No.	幅 (mm)	延長 (m)
A1橋台	1	0.20	1.00
	2	0.25	1.00
	3	0.20	1.00
	4	0.20	1.00
合計			4.00
A2橋台	5	0.25	1.00
合計			1.00

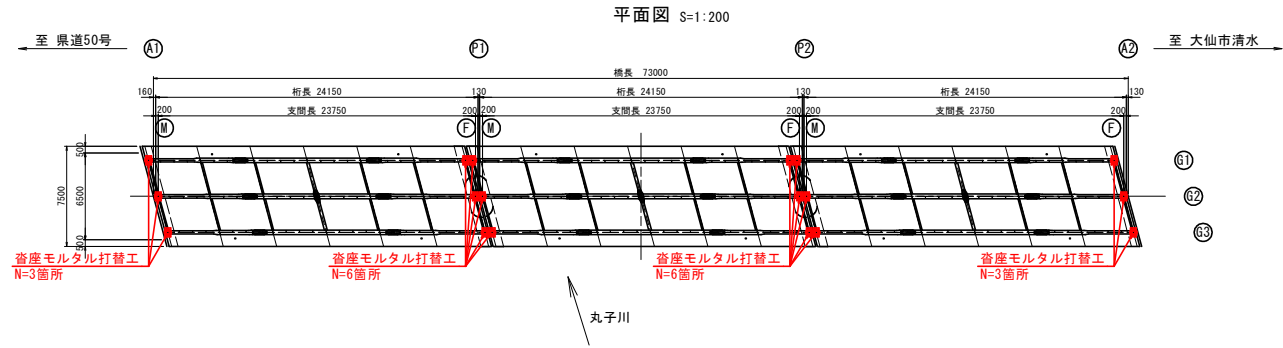
□ 左官工法(鉄筋露出無し) 補修数量

位置	No.	延長 (mm)	幅 (mm)	深さ (mm) (想定)	補修面積 (㎡)	補修体積 (m³)
A1橋台	1	600	100	30	0.060	0.0018
	2	300	100	30	0.030	0.0009
	3	200	200	30	0.040	0.0012
	4	400	200	30	0.080	0.0024
	5	600	250	40	0.150	0.0060
合計						0.0123

注記
※1. 施工前に現地寸法、補修範囲及び数量を確認し、協議のうえ施工すること。
※2. 断面修復工のカッター工は現地確認のうえ、作業の有無を決定し、鉄筋を露出しない様に留意すること。
※3. 断面修復時、左官工法による左官作業は既設コンクリート面(はつり面)にプライマーを塗布し、空隙が残らないように施工すること。
なお、かぶり不足箇所は厚塗りをするなど、かぶり厚さ30mmを確保すること。
※4. 断面修復工で重ね塗りを行う場合は重ね塗りの時間間隔や断面修復部の凝結状態などを考慮して行うこと。
※5. 鉄筋が腐食している場合の補修では、次の点に特に注意すること。
腐食した鉄筋のさびを完全に除去し、防錆処理を行うこと。
損傷箇所近くの鉄筋に付着している箇所も腐食している場合は、この部分も含めて補修すること。
※6. ひび割れ補修工は、浸透注入材の塗布前に、ダスター刷毛、エースプレー等により、施工箇所の清掃を行うこと。
※7. 作業員落下防止の対策を徹底すること。
※8. 気象状況の把握に努め、悪天候時に作業の中止等の判断すること。

令和 8 年度		工 事 番号	(建道0047)
路 線 名	河 川 名	市道 高梨町見内南北線	
個 所 名		大仙市高梨字柳田 地内	
工 事 名		橋補修交一第5号 北川目橋橋梁補修工事	
北川目橋 補修図 その10		縮 尺	図示
照査	設計	図面 番号	11
			13
大 仙 市			

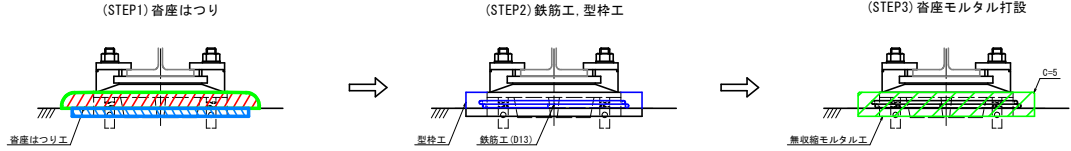
北川目橋 補修図 その11
橋梁補修工[沓座モルタル打替工]



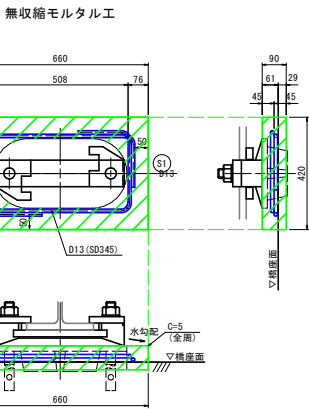
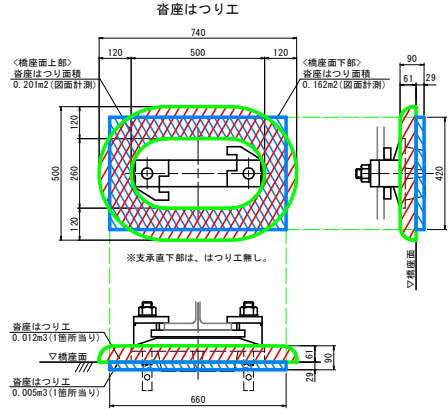
沓座モルタル打替工 S=1:10

作業手順図

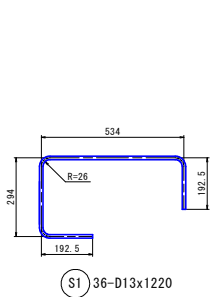
(STEP1) 沓座はつり
(STEP2) 鉄筋工, 型枠工
(STEP3) 沓座モルタル打設



沓座モルタル打替工詳細図 S=1:10
(全18箇所)



鉄筋加工図 S=1:10



補修数量

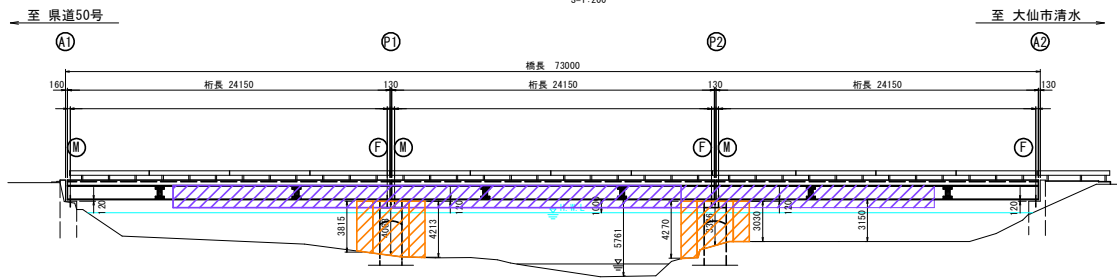
工種 種別	細 別	規 格	数量	単位
沓座モルタル打替工 全18箇所	沓座はつり工	沓座はつり	0.31	m3
	型枠工	一般型枠	2.37	m2
	無収縮モルタル工	無収縮モルタル	0.26	m3
	鉄筋工	鉄筋 (D13), SD345	0.04	t

注記
※1. 施工前に現地寸法、補修範囲及び数量を確認し、協議のうえ施工すること。
※2. 鉄筋が腐食している場合は補修では、次の点を特に注意すること。
腐食した鉄筋のさびを完全に除去し、防錆処理を行うこと。
損傷箇所近くの損傷していない箇所の鉄筋も腐食している場合は、この部分も含めて補修すること。
※3. 沓座モルタル天端面に滞水が生じないよう、勾配をつけて打設すること。
※4. 作業員落下防止の対策を徹底すること。
※5. 気象状況の把握に努め、悪天候時に作業の中止等の判断すること。

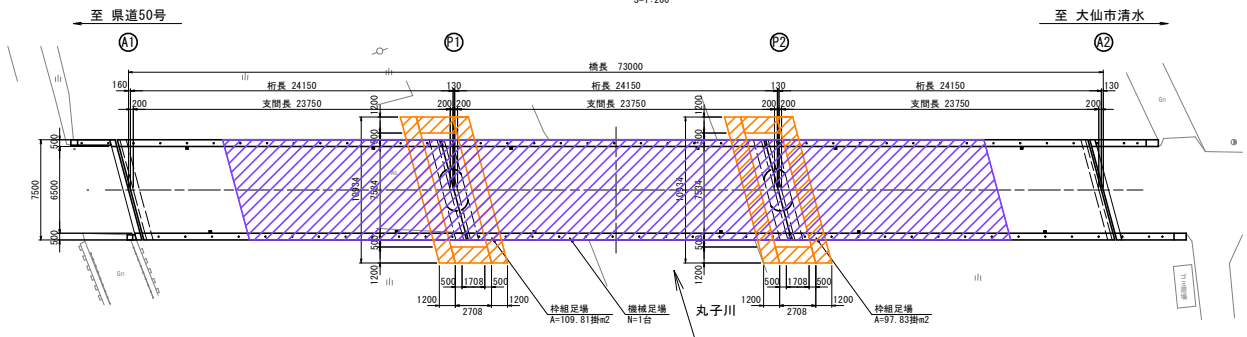
令和 8 年度		工 事 番号	(建道0047)
路 線 名	河 川 名	市道 高梨堀見内南北線	
個 所 名		大仙市高梨字柳田 地内	
工 事 名		橋補修交一第5号 北川目橋橋梁補修工事	
北川目橋 補修図 その11		縮 尺	図示
照査	設計	図面 番号	12
			13
大 仙 市			

北川目橋 仮設参考図(案)
足場工[枠組足場, 機械足場]

側面図

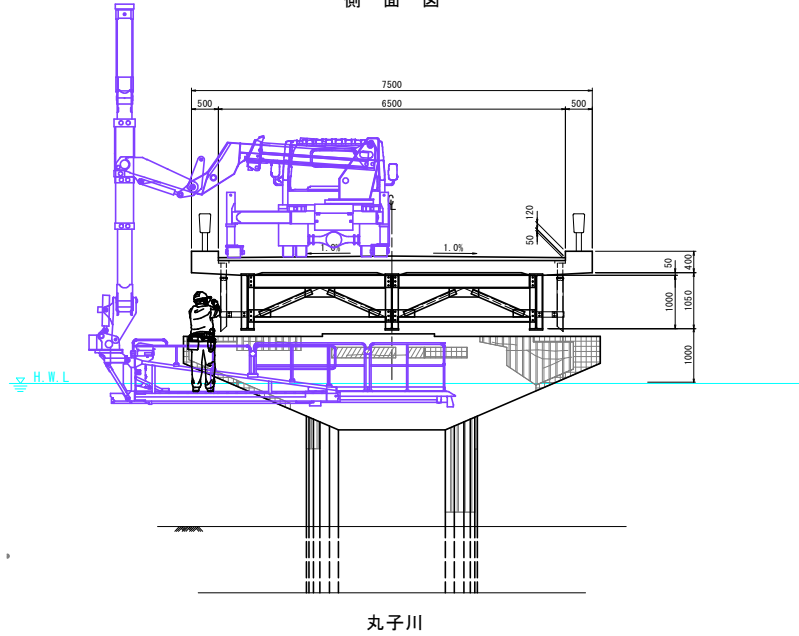


平面図



機械足場(橋梁点検車) S=1:50

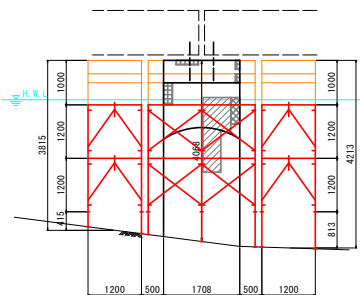
側面図



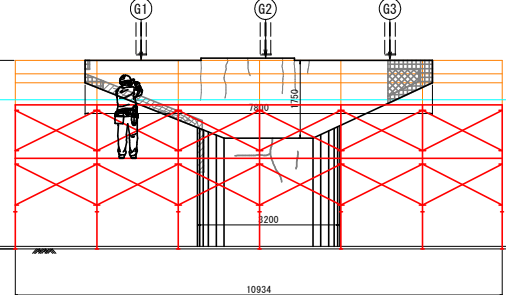
枠組足場 S=1:60

P1橋脚断面図

側面図
下流側



正面図
A1橋台側



[橋梁点検車]使用工程一覧

補修項目	補修概要
舗装	橋面防水工(床版水抜き管)

補修数量

工種	種別	規格	数量	単位
足場工	枠組足場 (P1, P2橋脚)	枠組足場 (A= 109.81 + 97.83 = 207.64[m ²])	207.64	㎡
	機械足場	機械足場(橋梁点検車)	1	日

注記
※1. 足場工施工の際は、現地状況や河川状況を確認し施工を行うこと。
※2. 足場設置に関しては、労働安全衛生規則を厳守した足場とすること。
※3. 足場高さは施工とH.W.L.を考慮した上で事前協議により決定すること。
※4. ハツリ発など河川等の落下防止に努め、環境対策を実施すること。
※5. 作業員落下防止の対策を徹底すること。
※6. 足場を使用する際は、安全帯の装着を行うこと。
※7. 施工安全水位を設定のうえ、中止の判断は速やかに行うこと。
※8. 天候の急変により水位が急上昇する危険性があるため、安全対策を徹底すること。

令和 8 年度	工事番号	(建道0047)
路線名	市道 高梨町見内南北線	
箇所名	大仙市高梨字柳田 地内	
工事名	橋補修交一第5号 北川目橋橋梁補修工事	
北川目橋 仮設参考図(案)	縮尺	図示
照査	設計	13
	図面番号	13
大 仙 市		